

令和3年度 事業計画

経験豊かで行動的な高齢者が活躍するセンター

I 基本方針

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による悪化が続き大変厳しい状況となり、内需・外需とも力強い回復の道筋は見えず当面は感染の拡大を警戒しながらの経済運営が続くものと思われまます。

令和3年4月からは、高齢者就業確保措置として労働者の70歳までの就業機会確保についての措置を制度化する努力義務が設けられ、新入会員の高年齢化が予測されるなか高齢者が働きやすい就業環境や就業条件について地域の実情をふまえた検討と、就業機会開拓への取組強化が必要となります。

今年度は、第5次基本計画（令和元年～3年）の最終年度であり、激動する社会の変化に対応し、改革する意識をもって就業機会開拓への取組強化を図り、地域の活性化に貢献できる公益社団法人として会員・役員・職員が一体となり、「**経験豊かで行動的な高齢者が活躍するセンター**」をめざし、次の項目を重点項目として今年度の目標達成に取り組んでまいります。

★ 重点項目と年度目標

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

目標会員数 537名 内女性会員数 120名

2. 就業機会の拡大

就業率の目標（請負） 90%以上

3. 安全就業の推進

事故ゼロを目指す

4. 営業基盤・財務基盤の強化

受注金額 2億円

II 事業実施計画

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

(1) 会員確保のための広報活動の強化

- ① 白井市発行「広報しろい」に会員募集説明会日程やセンター講習会等事業実施案内を都度掲載し、市民の理解を得る。
- ② 会報「シルバーしろい」を年2回発行し、会員の意識啓発を図るとともに、外部への配布により当センターの活動を宣伝する。

- ③ ホームページの更新により会員募集説明会・講習会日程など最新情報を発信する。
 - ④ しろいふるさとまつりに参加し、センター事業活動内容のPRを実施する。
- (2) 会員の増強
- ① 会員募集説明会、入会説明会を定例的に開催し、会員の増強を図る。
 - ② 職群班活動を活性化し「友呼び運動」を展開する。
- (3) 女性会員の獲得強化
- ① 女性限定の、女性会員による会員募集説明会を実施し女性会員の増強を図る。
 - ② 女性活躍委員会の活動のもと、女性会員の交流と活躍を推進する。
 - ③ 新しいコンセプトによるPRとチラシの作成を行う。
 - ④ 自宅の近くでできる仕事など女性会員の臨時的・短期的な就業希望の特徴を捉えた就業先の開拓を行なう。
- (4) 市民向け各種講習会の実施
- ① 梨栽培技能講習会、植木剪定講習会、初級パソコン講習会等高齢市民の就業機会拡大サポート、及び高齢市民の技術の向上、社会参加の場として役立つセンター主催の各種講習会を開催する。
 - ② 講習受講後アンケート及び講習受講6ヵ月後アンケート調査を実施し、次回講習内容に反映させる。
- (5) 同好会サークル活動の推進
- 会員の「収入を得る」から「仲間づくり」への意識変化に対応し、会員相互の繋がりを強化策として、同好会サークル活動を推進し会員の親睦と退会防止を図っていく。

2. 就業機会の拡大

高齢者に適した就業を、家庭、民間事業所及び官公庁等から有償で引き受け、これを高齢者である会員が余裕をもって楽しく就業できるよう請負又は委任の形式により提供する従来からの受託・請負事業を展開する。

- (1) 安定かつ継続的就業先の確保を図るため、労働者派遣事業（シルバー派遣）を強化する。
- (2) 随時「お仕事情報」を更新し、チラシの配布・ホームページの情報更新を行う。
- (3) 適切な就業機会を提供するため、会員の意識調査を適宜実施する。
- (4) 就業機会の創出
 - ① 市役所関連、工業団地企業、地元サービス業及び一般家庭別に的を絞りセンターの活動内容の理解を求め、就業の機会を拡大する。
 - ② 専任の就業開拓員による、シルバー人材センター事業内容の普及宣伝を図り新規就業先の開拓に努める。
 - ③ 人手不足分野での就業機会の開拓を行う。
 - ④ 高齢化社会に向け、介護予防・日常生活支援総合事業による家事支援サービスを充実させる。

3. 安全就業の推進

- (1) 作業中の事故及び就業途上の交通事故ゼロ化を徹底する。

- (2) 事故発生事案や事故分析結果、安全に対する情報、事故防止スローガン等を、適宜会報等に掲載し、会員への情報提供を図る。
- (3) 健康・安全部会員による定期的な巡回パトロールを実施する。
- (4) 安全講習会・マナー講習会を開催し就業に必要な基本事項を徹底する。
 - ① 新入会員には入会説明会や研修において、安全就業と事故防止の周知徹底を図る。
- (5) 健康管理の徹底
 - ① 入会時及び就業開始時を含め、定期的な健康診断を奨励し、会員の健康状況確認を徹底する。
 - ② 会員の健康管理意識向上に役立つ情報を会員へ積極的に提供する。

令和3年・4年度 安全標語

～ 安全は 仲間と自分を 守るもの ～

4. 営業基盤・財政基盤の強化 — リスク管理

(1) 営業・財政基盤の強化

① 契約金額の増強

令和3年度目標	請負・独自事業	121,000 千円
	派遣事業	79,000 千円
	契約金額合計	200,000 千円

② 新規開拓により受注件数・契約金額の増強を図る。

③ 業務システム（NRI エッジレス 80 コネクト）の活用により効率的事務体制を確立する。

(2) 独自事業の推進

① 女性会員中心の手工芸班を増強し、小間物作成販売等を拡大する。

② 他センター事例を参考に新たな独自事業参入を検討する。

③ 政府の行政サービスデジタル化推進による「デジタル活用支援員推進事業」に対応した「スマートフォン」で行政サービスを受けられるための関連事業を検討する。

(3) 遵法主義の徹底

① 公益社団法人に関する法令・規則・ルールを絶えず明確化し周知を図り、会員及び役職員一体となって、日頃の就業及び業務において遵法主義を徹底する。

② 特にセンター参入可能業務分野が拡大されるなか、「適正就業ガイドライン」の厳守をセンター全体で確認し徹底する。

(4) 事務局組織の充実

① 知識の習得・事務能力向上に努め、事務局内の認識の共有化による効率的な事業運営の強化を図る。

② 日常業務において経費の節減をするとともに、ペーパーレス化の促進を行なう。